

学生の確保の見通し等を記載した書類 別紙資料

資料 1	ニーズ調査パンフレット（令和 4 年度）・・・・・・・・・・	3
資料 2	ニーズ調査（学生対象）調査結果（令和 4 年度）・・・・・・・・	7
資料 3	ニーズ調査パンフレット（令和 5 年度）・・・・・・・・・・	17
資料 4	ニーズ調査（学生対象）調査結果（令和 5 年度）・・・・・・・・	19
資料 5	既設学科等の入学定員の充足状況・・・・・・・・・・	33
資料 6	既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績・・・	37
資料 7	要望書・・・・・・・・・・	39
資料 8	ニーズ調査（企業対象）調査結果・・・・・・・・・・	51
資料 9	ニーズ調査（公開講座受講者対象）調査結果・・・・・・・・・・	63

【2024年4月 開設予定】

群馬大学大学院 新研究科・新学環

情報学研究科

食健康科学研究科

パブリックヘルス学環

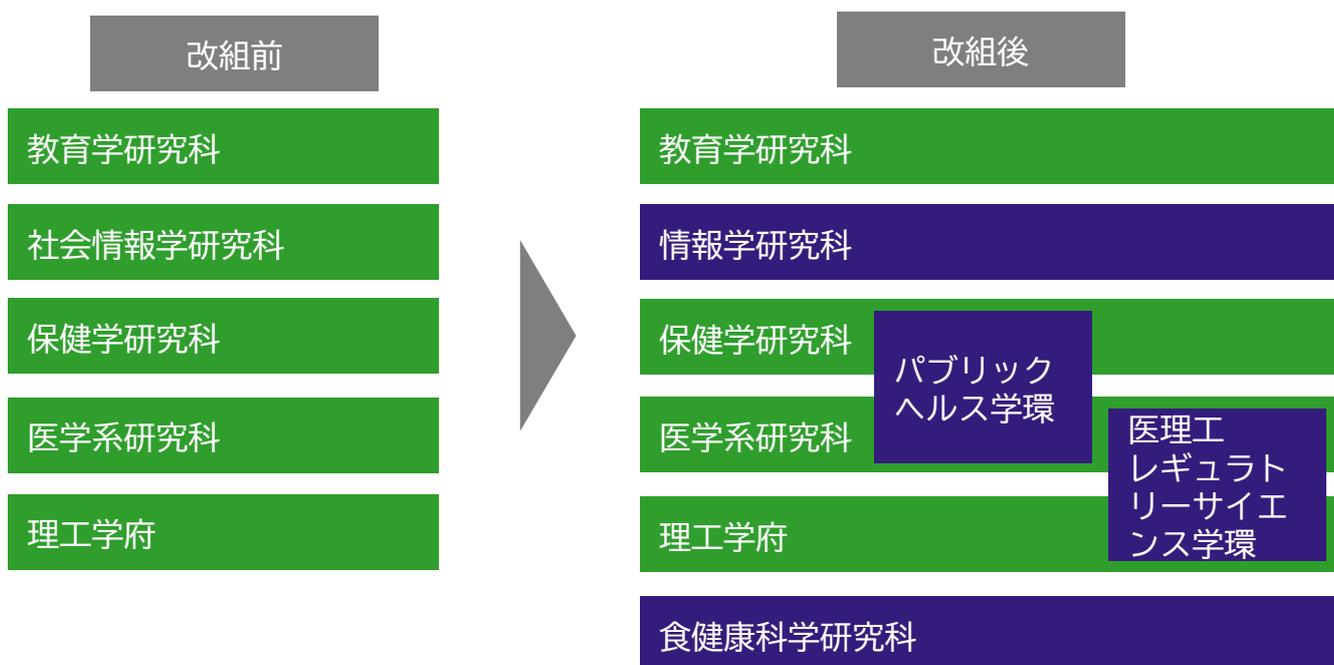
医理工レギュラトリーサイエンス学環

設置構想中

掲載内容は予定であり、
変更する場合があります。

群馬大学では新たな大学院を設置し 社会課題を解決する実践力を もつ人材の育成を強化します

1. デジタル分野を牽引する高度専門人材の育成を強化します
2. 予測不可能な時代の到来を見据え
分野横断的な高度専門知識・能力を持つ
高度専門職業人の育成を強化します



群馬大学
GUNMA UNIVERSITY

社会情報学プログラム

	育成する人材像	学位
博士前期課程	人文科学・社会科学、情報科学の知識とそれに基づいた社会的洞察力・状況分析能力・科学的思考能力を駆使して、行政・企業・NPOなどの各組織における意思決定に具体的・実践的に関与できる「高度専門職業人」を育成します。 そのために、メディアと社会の双方への視点を身につけ、社会から情報を獲得・分析し、社会への還元を立案できる能力を涵養する科目群を提供します。	情報学
博士後期課程	現在の社会変動の方向性を深く洞察し、今後の高度情報社会の具体的なあり方を、その原理的な社会理念に溯って構想し、現実の諸問題の解決を企画・立案できる「指導的高度専門職業人」および「実践的研究者」を育成します。そのために、情報の統括と組織の革新、現代社会・経済の状況分析、現代社会の理論的把握などに関する科目群を提供します。	情報学

情報科学プログラム

	育成する人材像	学位
博士前期課程	情報科学・データサイエンスの専門知識に基づいて研究開発の一翼を担える能力を涵養するとともに、情報技術と密接に関係する社会の諸相について理解を深めます。これらを通じて急激に変化する社会に対応して専門知識に基づく問題解決を図り未来社会の創造を担う高度専門職業人を育成します。	情報学
博士後期課程	社会における課題を俯瞰的に把握して情報科学・データサイエンスの観点から実践的に課題解決・研究開発ができる高度な実践スキルと応用力を修得し、国際的に活躍できる高度専門職業人・先端研究者を育成します。	情報学

修了後の主な進路

大学・研究機関、自治体、官公庁、金融機関、
電気機械器具製造業、輸送用機械器具製造業、電気・情報通信機械器具製造業、
電子部品・デバイス・電子回路製造業、運輸業、
学術研究 専門・技術サービス業、複合サービス業



食健康科学研究科

荒牧キャンパス
桐生キャンパス
昭和キャンパス

食健康科学プログラム

	育成する人材像	学位
博士前期課程	近年の人々の健康志向の高まりから「健康・美容」などへの展開が図られており、食のエビデンスベースの高付加価値化は益々期待されています。本プログラムでは、食品科学、食品生産工学、医科学、保健学を基盤とする食健康に関する高度な科学リテラシーを身につけ、これを食品開発や、健康寿命延伸の分野に寄与できる人材を育成します。育成人材は、食品産業、医療・医薬系産業、自治体等において、食品生産や食健康科学の専門家として活躍します。	食健康科学
博士後期課程	超高齢化社会に突入した我が国において健康寿命延伸は、重要な社会課題となっています。食健康科学は、この課題に大きな示唆を与えます。本プログラムでは、食健康科学分野において、総合的な科学リテラシーを身につけるとともに、これらを生かして、産業振興や健康長寿社会創出を牽引できるグローバル人材を育成します。	食健康科学

修了後の主な進路

大学・研究機関、自治体、官公庁、食料品製造業、飲料製造業、
有機化学工業製品製造業、医薬品製造業、化粧品製造業、
産業用電気機械器具製造業



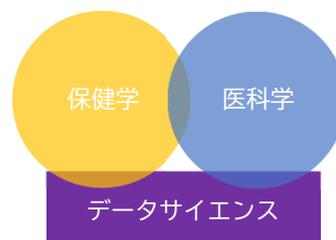
【設置構想中】掲載内容は予定であり、変更する場合があります。

社会健康医学プログラム

	育成する人材像	学位
博士前期課程	<p>人々の健康を増進し、疾病を予防するとともに、地域・国・地球レベルの健康への脅威に対処し、健康水準の格差を是正するための組織的な活動に寄与する最先端研究を推進します。そして公衆衛生の両輪である実践と研究のいずれの分野でも活躍できる卓越した能力を持った人材を育てるため、生物統計学の分析力と実践力を磨き、公衆衛生の専門家として必要となる知識・技能とともに、多様な価値観や倫理観が行き交う現場で課題解決力を発揮するためのマネジメント力のある高度専門家を育成します。</p> <p>※1年コース（医師・歯科医師・博士号取得者向け）と2年コース（上記以外）を設置</p>	社会健康医学
博士後期課程	<p>様々なバックグラウンドをもつ人材が必要とされている公衆衛生の領域において、特に疾病予防・医療・介護等のヘルス分野における専門知識・技術に生物統計学の知見を融合させた高度な実務・研究能力を有する人材を育成します。</p>	社会健康医学

修了後の主な進路

医療機関（臨床研究中核病院）、保険業、医薬品製造業、自治体、官公庁、大学・研究機関、シンクタンク、コンサルタント業（医薬品開発業務受託機関）



医理工レギュラトリーサイエンス学環

重粒子線医理工学プログラム

	育成する人材像	学位
博士前期課程	<p>重粒子線医理工学の分野横断的連携を基盤として、生命医科学、医学・医療及び理工学における学際的学問領域の研究を主体的に担うことができ、リーダーシップを発揮できる研究者・教育者、社会のニーズに対応できる高度職業人を育成します。また、医学物理士も育成します。</p>	生命医科学 理工学
博士後期課程	<p>重粒子線医理工学の分野横断的連携を基盤として、独創性や創造性に富んだ研究を遂行する能力、確固たる科学的倫理的価値観に基づき協調しながら国際舞台で活躍する能力を育成し、グローバル、さらにユニバーサルに医療や社会に貢献する医学及び理工学にかかわる人材を育成します。</p>	医学 理工学

修了後の主な進路

大学・研究機関、医療機関、医学物理士、産業用電気機械器具製造業（医療機器、電子応用装置）



【設置構想中】掲載内容は予定であり、変更する場合があります。

入学料・授業料（現行）

入学金 282,000円

授業料 535,800円（年額）

※入学金・授業料の免除、奨学金、教育研究補助員雇用などの経済的支援制度があります。

設置場所・アクセス



荒牧キャンパス

〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4-2

バス

- JR前橋駅北口2番乗り場（関越交通バス）
- 群馬大学荒牧經由渋川市内循環渋川駅行、小児医療センター行「群馬大学荒牧」下車（所要時間約28分）
- 渋川駅行、渋川市内循環渋川駅行「前橋自動車教習所前」下車（所要時間約25分+徒歩10分）

昭和キャンパス

〒371-8511 群馬県前橋市昭和町3-39-22

バス

- JR前橋駅北口2番乗り場（関越交通バス）
- 全線「群大病院入口」下車（所要時間約13分+徒歩6分）
- 群大病院行・群大病院經由群馬大学荒牧行、群大病院・南橋団地經由群馬大学荒牧行、群大病院經由南橋団地行「群大病院」下車（所要時間約15分）
- JR前橋駅北口3番乗り場（日本中央バス）
- 群馬総社駅「群大病院」下車（所要時間約15分）



桐生キャンパス

〒376-8515 群馬県桐生市天神町1-5-1

電車

- JR両毛線にて桐生駅下車、北方へ約2.5km
- 東武桐生線にて新桐生駅下車、北方へ約4.1km

バス

- JR桐生駅北口乗り場（おりひめバス）
- 旧女子高前行・上菱団地行・梅田ふるさとセンター前行「群馬大学桐生正門前」下車（所要時間約7分）
- 菱線右回り「群馬大学桐生東門前」下車（所要時間約7分）
- 東武新桐生駅乗り場（おりひめバス）
- 旧女子高前・上菱団地行「群馬大学桐生正門前」下車（所要時間約15分）



群馬大学
GUNMA UNIVERSITY

〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町四丁目2番地
<https://www.gunma-u.ac.jp/>

【設置構想中】掲載内容は予定であり、変更する場合があります。

群馬大学の新しい大学院に関するアンケート

群馬大学では、社会課題を解決する実践力をもつ人材を育成するため、以下の新しい大学院を設置することを検討しています。

- ・情報学研究科
- ・食健康科学研究科
- ・パブリックヘルス学環
- ・医理工レギュラトリーサイエンス学環

本アンケートは、学生の皆さんの進路選択に関する考え方、大学院で学びたいことなどの意見をお伺いし、群馬大学大学院の教育をより充実したものにするための参考資料とさせていただきます。

このアンケートで得られた情報や回答内容は上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありませんので、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※別紙資料の内容は設置構想中のものであり、名称は仮称です。今後変更になる可能性がありますのでご了承ください。



(共有なし) [アカウントを切り替える](#)



*必須

(1) はじめに、あなたご自身についてお聞きします。

① あなたが所属する大学について教えてください。 *

(例) ○○大学

回答を入力



② あなたが所属する学部・学科または研究科・専攻等について教えてください。 *

(例) ○○学部○○学科、○○研究科○○専攻

回答を入力

③ あなた学年について教えてください。 *

- 学部1年生
- 学部2年生
- 学部3年生
- 学部4年生
- 学部5年生
- 学部6年生
- 修士1年生
- 修士2年生

④ あなたは、大学（学部・研究科）卒業後の進路について、現時点ではどのよう *
に考えていますか。

以下の項目から、あてはまるもの1つをお選びください。（1つだけ）

- 大学院に進学（博士課程まで）
- 大学院に進学（修士課程まで）
- 就職
- その他

1/2 ページ

次へ

フォームをクリア



Google フォームでパスワードを送信しないでください。

群馬大学の新しい大学院に関するアンケート



(共有なし) [アカウントを切り替える](#)



*必須

ここからは、リーフレットをみながら回答してください。

※リーフレットは以下のURLからアクセスできます。

https://drive.google.com/file/d/12pn7GHw3l21mWFyz4JBLud9ZYy78IH2L/view?usp=share_link

(2) 群馬大学において新たに設置・改組しようとしている大学院についてお聞きします。



⑤ リーフレットに記載されている新たな研究科・学環について、あなたはどの * 程度魅力を感じますか。

	とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない
情報学研究科 社会情報学プログラム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
情報学研究科 情報科学プログラム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
食健康科学研究科 食健康科学プログラム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
パブリックヘルス学環 社会健康医学プログラム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
医理エリギュラトリーサイエンス学環 重粒子線医理工学プログラム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>



⑥ リーフレットに記載されている新たな研究科・学環について、進学したいと *
 思いますか。

	進学したい	どちらかと言え ば進学したい	どちらかと言え ば進学したいと は思わない	進学したいとは 思わない
情報学研究科 社会情報学プロ グラム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
情報学研究科 情報科学プログ ラム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
食健康科学研究 科 食健康科学 プログラム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
パブリックヘル ス学環 社会健 康医学プログラ ム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
医理工レギュラ トリーサイエン ス学環 重粒子 線医理工学プロ グラム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

⑦ 大学院の教育に関してご意見・ご要望がありましたらお答えください。（自
 由記載）

回答を入力

2/2 ページ

戻る

送信

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームは群馬大学 内部で作成されました。不正行為の報告

Google フォーム



「情報学研究科」「食健康科学研究科」
「パブリックヘルス学環」「医理工レギュラトリーサイエンス学環」
大学生・大学院生ニーズ調査結果

(入口のニーズ調査)

群馬大学の学部生 5,048 名、修士課程・博士前期課程の大学院生 876 名、合計 5,924 名を対象として、「情報学研究科」「食健康科学研究科」「パブリックヘルス学環」「医理工レギュラトリーサイエンス学環」に関するアンケート調査を実施した。調査時期は 2023 年 1 月であり、333 の有効回答を得た(有効回答率は 5.6%である)。また、群馬県立県民健康科学大学、群馬県立女子大学、前橋工科大学、高崎経済大学の学部生・大学院生に対して同じアンケート調査への回答協力を依頼して、47 名から有効回答を得た。

いずれのアンケート調査も回答前に、各研究科・学環の概要を記したリーフレットを読むように勧めている。以下の分析では、学部や研究科などの所属が不明である回答者と、同じ学部・研究科から 1 名しか回答していないケースを除いている。

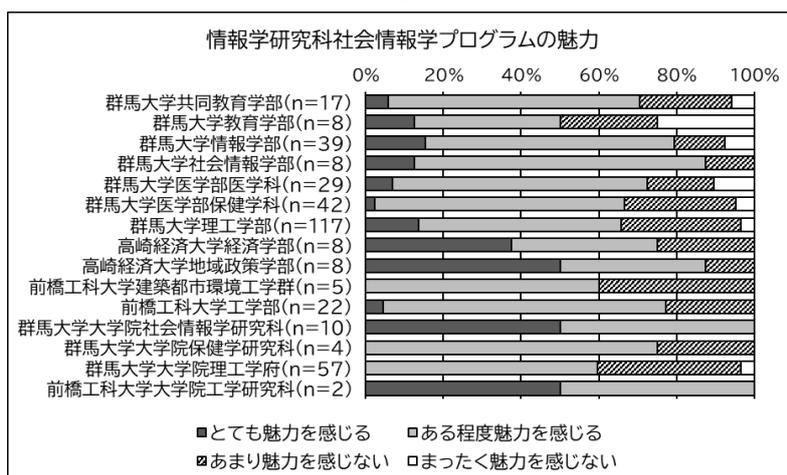


図 1.1 情報学研究科社会情報学プログラムに対する魅力の程度 (%)

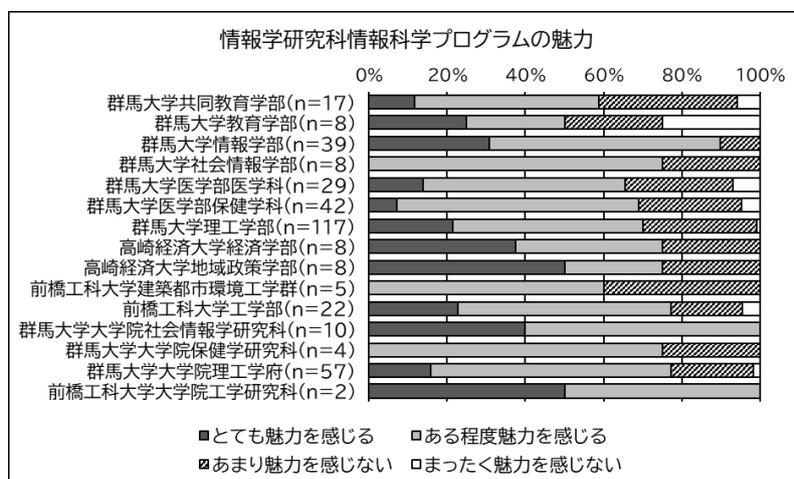


図 1.2 情報学研究科情報科学プログラムに対する魅力の程度 (%)

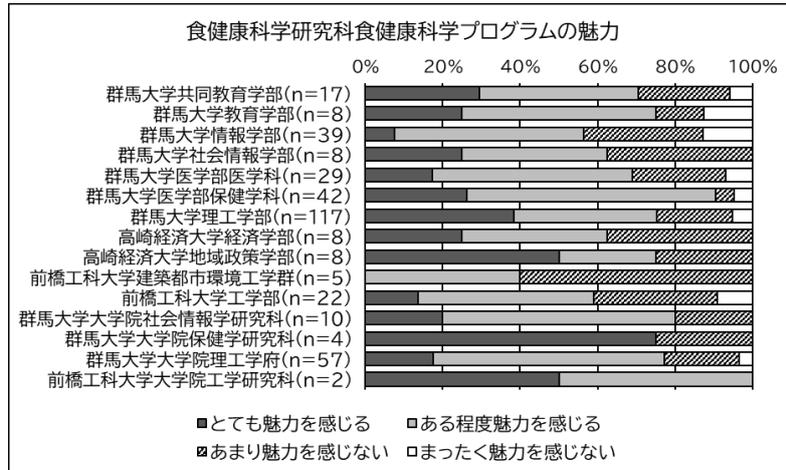


図 1.3 食健康科学研究科食健康科学プログラムに対する魅力の程度 (%)

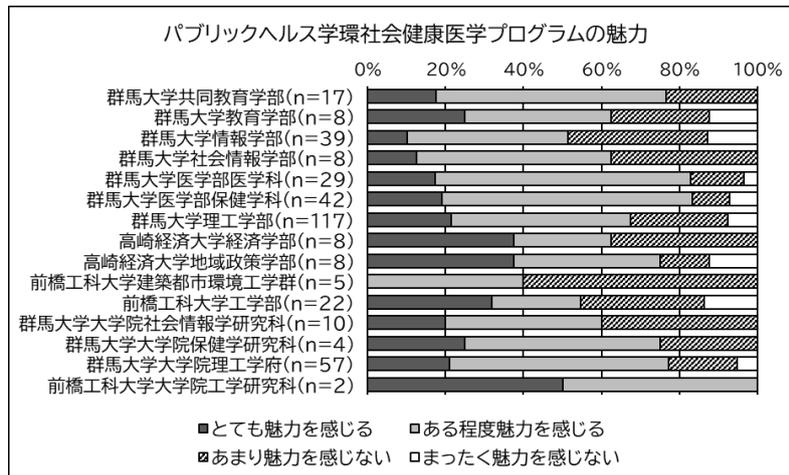


図 1.4 パブリックヘルス学環社会健康医学プログラムに対する魅力の程度 (%)

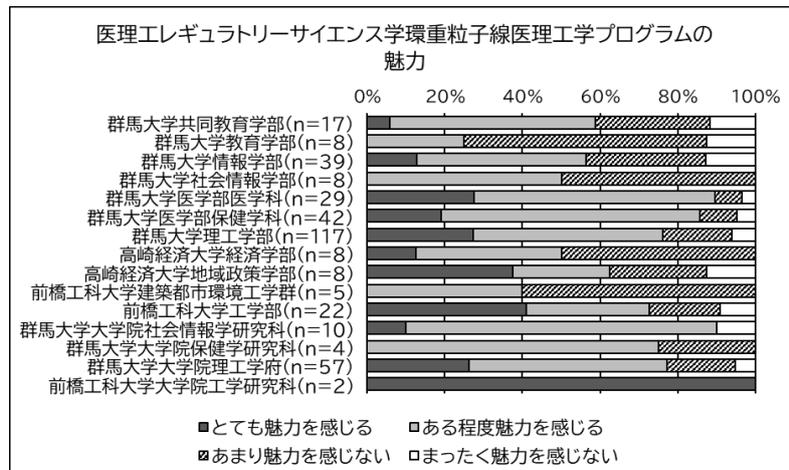


図 1.5 医理工レギュラトリーサイエンス学環重粒子線医理工プログラムに対する魅力の程度 (%)

図 1.1、図 1.2、図 1.3、図 1.4、図 1.5 は各研究科・学環の魅力について、4 件法(「まったく魅力を感じない」「あまり魅力を感じない」「ある程度魅力を感じる」「とても魅力を感じる」)による回答を回答者の所属する学部・研究科ごとに示したものである。ほぼすべての学部・研究科において過半数の回答者が、いずれの各研究科・学環に対しても「ある程度魅力を感じる」か「とても魅力を感じる」と回答している。群馬大学、群馬県内の大学における学部生・大学院生の関心は高いといえる。

表 1 各研究科・学環に対する「どちらかと言えば進学したい」と「進学したい」の合計(%)

	情報学研 究科社会 情報学プ ログラム	情報学研 究科情報 科学プロ グラム	食健康科 学研究科 食健康科 学プログ ラム	パブリッ クヘルス 学環社会 健康医学 プログラ ム	医理工レ ギュラト リーサイ エンス学 環重粒子 線医理工 学プログラ ム
群馬大学共同教育学部 (n=17)	23.5	29.4	47.1	11.8	5.9
群馬大学教育学部 (n=8)	37.5	50.0	37.5	37.5	25.0
群馬大学情報学部 (n=39)	33.3	56.4	15.4	17.9	12.8
群馬大学社会情報学部 (n=8)	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0
群馬大学医学部医学科 (n=29)	6.9	13.8	24.1	31.0	37.9
群馬大学医学部保健学科 (n=42)	9.5	11.9	38.1	52.4	38.1
群馬大学理工学部 (n=117)	34.2	40.2	55.6	37.6	52.1
高崎経済大学経済学部 (n=8)	50.0	50.0	50.0	25.0	12.5
高崎経済大学地域政策学部 (n=8)	62.5	50.0	37.5	25.0	25.0
前橋工科大学建築都市環境工学群 (n=5)	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
前橋工科大学工学部 (n=22)	27.3	36.4	27.3	31.8	50.0
群馬大学大学院社会情報学研究科 (n=10)	80.0	70.0	30.0	10.0	40.0
群馬大学大学院保健学研究科 (n=4)	50.0	50.0	75.0	75.0	50.0
群馬大学大学院理工学府 (n=57)	22.8	49.1	50.9	38.6	49.1
前橋工科大学大学院工学研究科 (n=2)	100.0	100.0	50.0	50.0	50.0

表 1 は各研究科・学環への進学に関する 4 件法(「進学したいとは思わない」「どちらかと言えば進学したいとは思わない」「どちらかと言えば進学したい」「進学したい」)による回答について、「どちらかといえば進学したい」と「進学したい」の合計を回答者の所属する学部・研究科ごとに示したものである。50.0%以上のマス目を白抜き文字に、30.0%以上 50.0%未満のマス目の背景色をグレーにしている。

群馬大学の学部生に関して進学意向の割合が相対的に高いのは情報学部の学生による情報学研究科情報科学プログラム、医学部保健学科の学生によるパブリックヘルス学環社会健康医学プログラム、理工学部の学生による食健康科学研究科食健康科学プログラムと医理工レギュラトリーサイエンス学環重粒子線医理工学プログラムであった。また、高崎経済大学の学生が情報学研究科社会情報学プログラムと情報学研究科情報科学プログラムへ、前橋工科大学の学生が医理工レギュラトリーサイエンス学環重粒子線医理工学プログラムへ高い割合の進学希望を示している。他方、大学院生においても各研究科・学環への進学希望の割合は高い。新設される各研究科・学環は一定の志願者を集めることになると考えられる。

設置構想中
掲載内容は予定であり、
変更する場合があります。

資料 3

【2025年4月 開設予定】

群馬大学大学院 食健康科学研究科

荒牧キャンパス
桐生キャンパス
昭和キャンパス

- 超高齢社会において、平均寿命とともに平均健康寿命が延びる中、生活習慣病など健康寿命を損なう疾患の発生が増え、医療や福祉などの問題に対応することが喫緊の課題となっています。
- 食は人に健康をもたらすものであるだけでなく、地球規模の環境負荷及びエネルギー等の課題に関係しているため、食の健康への機能性に関するエビデンスベースでの評価や高付加価値かつ低炭素な生産システムへの取組がますます期待されています。

<食健康科学研究科の特色>

- ✓ 食と健康の関係性を科学的に解明することが可能となります。
- ✓ 食品工学、食品生産工学、医科学、保健学を基盤として、食と健康に関する高度な専門的科学研究リテラシーを持つ人材を育成します。
- ✓ 地域食品産業の課題解決と持続可能な食による地域活性化と未来社会創造に貢献する専門家を育成します。
- ✓ 内分泌代謝学に関する国内唯一の生体調節研究所及び生活習慣病解析センターとの連携により、生活習慣病に関する基礎医学研究を進めることができます。

	育成する人材像	学位
博士前期課程	近年の人々の健康志向の高まりから「健康・美容」などへの展開が図られており、食のエビデンスベースの高付加価値化は益々期待されています。本プログラムでは、食品科学、食品生産工学、医科学、保健学を基盤とする食健康に関する高度な科学リテラシーを身につけ、これを食品開発や、健康寿命延伸の分野に寄与できる人材を育成します。育成人材は、食品産業、医療・医薬系産業、自治体等において、食品生産や食健康科学の専門家として活躍します。	食健康科学
博士後期課程	超高齢化社会に突入した我が国において健康寿命延伸は、重要な社会課題となっています。食健康科学は、この課題に大きな示唆を与えます。本プログラムでは、食健康科学分野において、総合的な科学リテラシーを身につけるとともに、これらを生かして、産業振興や健康長寿社会創出を牽引できる高度専門家としてのグローバル・トップリーダーや、独創的な研究により世界規模の課題解決を先導する研究者・教育者を育成します。	食健康科学

修了後の主な進路

大学・研究機関、自治体、官公庁
食料品製造業、飲料製造業
有機化学工業製品製造業、医薬品製造業
化粧品製造業
産業用電気機械器具製造業



群馬大学 生確保 (資料) - 17
GUNMA UNIVERSITY

入学料・授業料（現行）

入学金

282,000円

授業料

535,800円（年額）

※入学金・授業料の免除、奨学金、教育研究補助員雇用などの経済的支援制度があります。

設置場所・アクセス

ACCESS



荒牧キャンパス

〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4-2

バス

- JR前橋駅北口2番乗り場（関越交通バス）
- 群馬大学荒牧經由渋川市内循環渋川駅行、小児医療センター行「群馬大学荒牧」下車（所要時間約28分）
- 渋川駅行、渋川市内循環渋川駅行「前橋自動車教習所前」下車（所要時間約25分+徒歩10分）

昭和キャンパス

〒371-8511 群馬県前橋市昭和町3-39-22

バス

- JR前橋駅北口2番乗り場（関越交通バス）
- 全線「群大病院入口」下車（所要時間約13分+徒歩6分）
- 群大病院行・群大病院經由群馬大学荒牧行、群大病院・南橋団地經由群馬大学荒牧行、群大病院經由南橋団地行「群大病院」下車（所要時間約15分）
- JR前橋駅北口3番乗り場（日本中央バス）
- 群馬総社駅「群大病院」下車（所要時間約15分）

ACCESS



桐生キャンパス

〒376-8515 群馬県桐生市天神町1-5-1

電車

- JR両毛線にて桐生駅下車、北方へ約2.5km
- 東武桐生線にて新桐生駅下車、北方へ約4.1km

バス

- JR桐生駅北口乗り場（おりひめバス）
- 旧女子高前行・上菱団地行・梅田ふるさとセンター前行「群馬大学桐生正門前」下車（所要時間約7分）
- 菱線右回り「群馬大学桐生東門前」下車（所要時間約7分）
- 東武新桐生駅乗り場（おりひめバス）
- 旧女子高前・上菱団地行「群馬大学桐生正門前」下車（所要時間約15分）



群馬大学
GUNMA UNIVERSITY

〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町四丁目2番地
<https://www.gunma-u.ac.jp/>

学生確保(資料)-18-

【設置構想中】掲載内容は予定であり、変更する場合があります。

群馬大学の新しい大学院に関するアンケート

群馬大学では、社会課題を解決する実践力をもつ人材を育成するため、食健康科学研究科を設置することを検討しています。

本アンケートは、学生の皆さんの進路選択に関する考え方、大学院で学びたいことなどの意見をお伺いし、群馬大学大学院の教育をより充実したものにするための参考資料とさせていただきます。

このアンケートで得られた情報や回答内容は上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありませんので、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※別紙資料の内容は設置構想中のものであり、名称は仮称です。今後変更になる可能性がありますので、ご了承ください。

[アカウントを切り替える](#)



共有なし

[次へ](#)

[フォームをクリア](#)

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームは群馬大学 内部で作成されました。 [不正行為の報告](#)

Google フォーム



群馬大学の新しい大学院に関するアンケート

[アカウントを切り替える](#)



共有なし

* 必須の質問です

(1) はじめに、あなたご自身についてお聞きします。

1. あなたが所属する大学について教えてください。*

(例) ○○大学

回答を入力

2. あなたが所属する学部・学科または研究科・専攻等について教えてください。*

(例) ○○学部○○学科、○○研究科○○専攻

回答を入力



3. あなたの学年について教えてください。 *

- ① 学部1年生
- ② 学部2年生
- ③ 学部3年生
- ④ 学部4年生
- ⑤ 学部5年生
- ⑥ 学部6年生
- ⑦ 修士1年生
- ⑧ 修士2年生

4. 大学（学部・研究科）卒業後の進路をどのように考えていますか。（複数選 * 択可）

- ① 大学院に進学（博士課程まで）
- ② 大学院に進学（修士課程まで）
- ③ 就職
- ④ その他

戻る

次へ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームは群馬大学 内部で作成されました。 [不正行為の報告](#)

Google フォーム



群馬大学の新しい大学院に関するアンケート

[アカウントを切り替える](#)



 共有なし

(4の設問のうち、①または②を選択した方に質問です。③または④を選択した方は、5と6の設問は飛ばして次に進んでください。)

5. 志望する大学院の設置者の希望を選択してください。(複数選択可)

① 国立

② 公立

③ 私立



6. 大学（学部・研究科）を卒業後、学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。（複数選択可）

- ① 法学・政治学関係
- ② 商学・経済学関係
- ③ 社会学関係
- ④ 物理学関係
- ⑤ 生物関係
- ⑥ 機械工学関係
- ⑦ 電気通信工学関係
- ⑧ 土木・建築工学関係
- ⑨ 応用化学関係
- ⑩ 農学関係
- ⑪ 医学関係
- ⑫ 薬学関係
- ⑬ 看護学関係
- ⑭ 食健康科学関係
- ⑮ 家政学関係
- ⑯ 食物学関係
- ⑰ 教育学関係
- ⑱ 自然科学関係
- ⑲ 人文・社会科学関係
- その他:

戻る

次へ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームは群馬大学 内部で作成されました。 [不正行為の報告](#)



群馬大学の新しい大学院に関するアンケート

[アカウントを切り替える](#)



共有なし

* 必須の質問です

ここからは、リーフレットを見ながら回答してください。

※リーフレットは以下からアクセスできます。

[群馬大学大学院食健康科学研究科概要リーフレット](#)

(2) 群馬大学において新たに設置しようとしている大学院についてお聞きします。

1. 群馬大学大学院食健康科学研究科 (博士前期課程) が開設された場合、受験を希望しますか。次より一つ選択してください。 *

- ① 第一志望として受験する
- ② 第二志望として受験する
- ③ 第三志望以降として受験する
- ④ 受験しない

[戻る](#)

[次へ](#)

[フォームをクリア](#)

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームは 群馬大学 内部で作成されました。 [不正行為の報告](#)

Google フォーム



群馬大学の新しい大学院に関するアンケート

アカウントを切り替える



共有なし

* 必須の質問です

(1の設問で①～③を選択した方に質問です。)

2. 群馬大学大学院食健康科学研究科(博士前期課程)を受験して合格した場合、入学を希望しますか。次より一つ選択してください。*

- ① 入学する
- ② 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する
- ③ 入学しない

戻る

次へ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームは群馬大学 内部で作成されました。 [不正行為の報告](#)

Google フォーム



群馬大学の新しい大学院に関するアンケート

[アカウントを切り替える](#)



共有なし

* 必須の質問です

3. 群馬大学大学院食健康科学研究科 (博士後期課程) が開設された場合、受験を希望しますか。次より一つ選択してください。 *

- ① 第一志望として受験する
- ② 第二志望として受験する
- ③ 第三志望以降として受験する
- ④ 受験しない

[戻る](#)

[次へ](#)

[フォームをクリア](#)

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームは群馬大学 内部で作成されました。 [不正行為の報告](#)

Google フォーム



群馬大学の新しい大学院に関するアンケート

アカウントを切り替える



共有なし

* 必須の質問です

(3の設問で①～③を選択した方に質問です。)

4. 群馬大学大学院食健康科学研究科(博士後期課程)を受験して合格した場合、入学を希望しますか。次より一つ選択してください。*

- ① 入学する
- ② 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する
- ③ 入学しない

戻る

次へ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームは群馬大学 内部で作成されました。 [不正行為の報告](#)

Google フォーム



群馬大学の新しい大学院に関するアンケート

[アカウントを切り替える](#)



 共有なし

(3) 大学院の教育に関してご意見・ご要望がありましたらお答えください。
(自由記載)

回答を入力

[戻る](#)

[送信](#)

[フォームをクリア](#)

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームは 群馬大学 内部で作成されました。 [不正行為の報告](#)

Google フォーム



**「食健康科学研究科」
大学生・大学院生ニーズ調査結果**

群馬大学の学部生 5,035 名、修士課程・博士前期課程の大学院生 899 名、合計 5,934 名を対象として、食健康科学研究科に関するアンケート調査を実施した。調査時期は 2023 年 11 月であり、374 の有効回答を得た(有効回答率 6.3%)。また、群馬県内の公立大学の学部生・大学院生に対して同じアンケート調査への回答協力を依頼して、55 名から有効回答を得た。

いずれのアンケート調査も回答前に、食健康科学研究科の概要を記したリーフレットを読むように勧めている。以下の分析では、学部や研究科などの所属が不明である回答者を除いている。

有効回答

群馬大学共同教育学部学校教育教員養成課程	(n=8)
群馬大学社会情報学部社会情報学科	(n=4)
群馬大学情報学部情報学科	(n=27)
群馬大学医学部医学科	(n=18)
群馬大学医学部保健学科	(n=85)
群馬大学理工学部化学・生物科学科	(n=23)
群馬大学理工学部機械知能システム理工学科	(n=3)
群馬大学理工学部環境創生理工学科	(n=9)
群馬大学理工学部電子情報理工学科	(n=3)
群馬大学理工学部総合理工学科	(n=1)
群馬大学理工学部物質・環境類	(n=96)
群馬大学理工学部電子・機械類	(n=17)
群馬大学理工学部	(n=2)
群馬大学大学院教育学研究科専門職学位課程	(n=4)
群馬大学大学院社会情報学研究科修士課程	(n=7)
群馬大学大学院医学系研究科博士前期課程	(n=3)
群馬大学大学院保健学研究科博士前期課程	(n=29)
群馬大学大学院理工学府博士前期課程	(n=35)
高崎経済大学経済学部経済学科	(n=3)
高崎経済大学経済学部経営学科	(n=10)
高崎経済大学経済学部国際学科	(n=2)
高崎経済大学経済学部	(n=4)
高崎経済大学地域政策学部地域政策学科	(n=4)
高崎経済大学地域政策学部観光政策政策学科	(n=9)
高崎経済大学地域政策学部地域づくり学科	(n=4)
高崎経済大学地域政策学部	(n=9)
高崎経済大学大学院地域政策研究科修士課程	(n=1)
前橋工科大学工学部総合デザイン工学科	(n=1)
前橋工科大学工学部建築・都市・環境工学群	(n=4)
前橋工科大学工学部情報・生命工学群	(n=3)
前橋工科大学大学院工学研究科修士課程	(n=1)
合計	(n=429)

図 1 有効回答者

博士前期課程へ第一志望で入学を希望している者

	該当者数	構成比	該当率※
群馬大学理工学部化学・生物科学科 (n=23)	2	5.7%	8.7%
群馬大学理工学部環境創生理工学科 (n=9)	2	5.7%	22.2%
群馬大学理工学部物質・環境類 (n=96)	29	82.9%	30.2%
高崎経済大学地域政策学部観光政策政策学科 (n=9)	1	2.9%	11.1%
群馬大学大学院理工学府博士前期課程 (n=35)	1	2.9%	2.9%
合計 (n=429)	35		8.2%

(集計条件)

※該当率：各所属学部等の全有効回答中の該当者割合

以下を全て満たす者

- ・大学院進学を希望している者
- ・国立を志望している者
- ・食健康科学に関する分野に興味を持つ者
- ・第一志望として受験を希望している者
- ・合格時に入学を希望している者

図2 食健康科学研究科博士前期課程へ第一志望で入学を希望している者

博士前期課程へ第一志望又は第二希望で入学を希望している者

	該当者数	構成比	該当率※
群馬大学医学部保健学科 (n=85)	3	4.5%	3.5%
群馬大学理工学部化学・生物科学科 (n=23)	4	6.1%	17.4%
群馬大学理工学部環境創生理工学科 (n=9)	3	4.5%	33.3%
群馬大学理工学部物質・環境類 (n=96)	48	72.7%	50.0%
高崎経済大学地域政策学部観光政策政策学科 (n=9)	1	1.5%	11.1%
群馬大学大学院保健学研究科博士前期課程 (n=28)	4	6.1%	14.3%
群馬大学大学院理工学府博士前期課程 (n=35)	3	4.5%	8.6%
合計 (n=429)	66		15.4%

(集計条件)

※該当率：各所属学部等の全有効回答中の該当者割合

以下を全て満たす者

- ・大学院進学を希望している者
- ・国立を志望している者
- ・食健康科学に関する分野に興味を持つ者
- ・第一志望又は第二志望として受験を希望している者
- ・合格時に入学を希望又は志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学を希望している者

図3 食健康科学研究科博士前期課程へ第一志望又は第二志望で入学を希望している者

博士前期課程へ第一志望、第二希望又は第三志望で入学を希望している者

	該当者数	構成比	該当率※
群馬大学医学部保健学科 (n=85)	9	11.4%	10.6%
群馬大学理工学部化学・生物科学科 (n=23)	5	6.3%	21.7%
群馬大学理工学部環境創生理工学科 (n=9)	3	3.8%	33.3%
群馬大学理工学部物質・環境類 (n=96)	53	67.1%	55.2%
群馬大学理工学部 (n=2)	1	1.3%	50.0%
高崎経済大学地域政策学部観光政策政策学科 (n=9)	1	1.3%	11.1%
群馬大学大学院保健学研究科博士前期課程 (n=28)	4	5.1%	14.3%
群馬大学大学院理工学府博士前期課程 (n=35)	3	3.8%	8.6%
合計 (n=429)	79		18.4%

(集計条件)

※該当率：各所属学部等の全有効回答中の該当者割合

以下を全て満たす者

- ・大学院進学を希望している者
- ・国立を志望している者
- ・食健康科学に関する分野に興味を持つ者
- ・第一志望、第二志望又は第三志望として受験を希望している者
- ・合格時に入学を希望又は志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学を希望している者

図4 食健康科学研究科博士前期課程へ第一志望、第二志望又は第三志望で入学を希望している者

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）

別紙2-1

大学学部学科等名：群馬大学共同教育学部教育教員養成課程

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	-	-	-	-	-	#DIV/0!	
	延べ人数	志願者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		受験者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		合格者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		うち追加合格者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		辞退者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
	実人数	志願者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		受験者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		合格者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		うち追加合格者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		辞退者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
	入学者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!	
	学校推薦型選抜	募集人数	-	37人	39人	39人	39人	39人
延べ人数		志願者数	-	116人	129人	121人	93人	115人
		受験者数	-	116人	129人	121人	93人	115人
		合格者数	-	37人	39人	38人	39人	38人
		うち追加合格者数	-	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	-	0人	0人	0人	0人	0人
実人数		志願者数	-	116人	129人	121人	93人	115人
		受験者数	-	116人	129人	121人	93人	115人
		合格者数	-	37人	39人	38人	39人	38人
		うち追加合格者数	-	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	-	0人	0人	0人	0人	0人
入学者数		-	37人	39人	38人	39人	38人	
一般選抜		募集人数	-	153人	151人	151人	151人	152人
	延べ人数	志願者数	-	471人	643人	570人	544人	557人
		受験者数	-	282人	410人	318人	319人	332人
		合格者数	-	173人	172人	175人	169人	172人
		うち追加合格者数	-	0人	0人	1人	0人	0人
		辞退者数	-	8人	10人	10人	7人	9人
	実人数	志願者数	-	471人	643人	570人	544人	557人
		受験者数	-	282人	410人	318人	319人	332人
		合格者数	-	173人	172人	174人	169人	172人
		うち追加合格者数	-	0人	0人	1人	0人	0人
		辞退者数	-	8人	10人	10人	7人	9人
	入学者数	-	165人	162人	165人	162人	164人	
	共通テスト利用入試	募集人数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
延べ人数		志願者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		受験者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		合格者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		うち追加合格者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		辞退者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
実人数		志願者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		受験者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		合格者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		うち追加合格者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		辞退者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
入学者数		-	-	-	-	-	#DIV/0!	
その他の特別選抜		募集人数	-	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	-	10人	8人	7人	7人	8人
		受験者数	-	9人	4人	4人	3人	5人
		合格者数	-	1人	1人	0人	0人	1人
		うち追加合格者数	-	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	-	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	-	10人	8人	7人	7人	8人
		受験者数	-	9人	4人	4人	3人	5人
		合格者数	-	1人	1人	0人	0人	1人
		うち追加合格者数	-	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	-	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	-	1人	0人	0人	0人	0人	
	合計	募集人数	0人	190人	190人	190人	190人	152人
延べ人数		志願者数	0人	597人	780人	698人	644人	544人
		受験者数	0人	407人	543人	443人	415人	362人
		合格者数	0人	211人	212人	213人	208人	169人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
		辞退者数	0人	8人	10人	10人	7人	7人
実人数		志願者数	0人	597人	780人	698人	644人	544人
		受験者数	0人	407人	543人	443人	415人	362人
		合格者数	0人	211人	212人	212人	208人	169人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
		辞退者数	0人	8人	10人	10人	7人	7人
入学者数		0人	203人	201人	203人	201人	162人	

2. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	-	190人	190人	190人	190人	190人
入学定員充足率	-	1.07	1.06	1.07	1.06	1.06
歩留率	-	0.96	0.95	0.95	0.97	0.96

（備考）
令和2年4月開設

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	-	-	-	-	-	#DIV/0!	
	延べ人数	志願者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		受験者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		合格者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		うち追加合格者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		辞退者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
	実人数	志願者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		受験者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		合格者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		うち追加合格者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		辞退者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
	入学者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!	
	学校推薦型選抜	募集人数	35人	37人	37人	37人	37人	37人
延べ人数		志願者数	120人	147人	138人	87人	90人	116人
		受験者数	120人	146人	138人	87人	90人	116人
		合格者数	35人	41人	37人	36人	37人	37人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
実人数		志願者数	120人	147人	138人	87人	90人	116人
		受験者数	120人	146人	138人	87人	90人	116人
		合格者数	35人	41人	37人	36人	37人	37人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
入学者数		35人	41人	36人	36人	37人	37人	
一般選抜		募集人数	73人	71人	71人	71人	71人	71人
	延べ人数	志願者数	279人	202人	188人	318人	303人	258人
		受験者数	200人	188人	169人	170人	198人	185人
		合格者数	76人	76人	76人	76人	76人	76人
		うち追加合格者数	3人	5人	4人	4人	5人	4人
		辞退者数	3人	5人	4人	4人	5人	4人
	実人数	志願者数	279人	202人	188人	318人	303人	258人
		受験者数	200人	188人	169人	170人	198人	185人
		合格者数	76人	76人	76人	76人	76人	76人
		うち追加合格者数	3人	5人	4人	4人	5人	4人
		辞退者数	3人	5人	4人	4人	5人	4人
	入学者数	73人	71人	72人	72人	71人	72人	
	共通テスト利用入試	募集人数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
延べ人数		志願者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		受験者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		合格者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		うち追加合格者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		辞退者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
実人数		志願者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		受験者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		合格者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		うち追加合格者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		辞退者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
入学者数		-	-	-	-	-	#DIV/0!	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	0人	1人	4人	2人	4人	2人
		受験者数	0人	1人	4人	1人	2人	2人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	1人	4人	2人	4人	2人
		受験者数	0人	1人	4人	1人	2人	2人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	合計	募集人数	108人	108人	108人	108人	108人	108人
延べ人数		志願者数	399人	350人	330人	407人	397人	377人
		受験者数	320人	335人	311人	258人	290人	303人
		合格者数	111人	117人	113人	112人	113人	113人
		うち追加合格者数	3人	5人	4人	4人	5人	4人
		辞退者数	3人	5人	5人	4人	5人	4人
実人数		志願者数	399人	350人	330人	407人	397人	377人
		受験者数	320人	335人	311人	258人	290人	303人
		合格者数	111人	117人	113人	112人	113人	113人
		うち追加合格者数	3人	5人	4人	4人	5人	4人
		辞退者数	3人	5人	5人	4人	5人	4人
入学者数		108人	112人	108人	108人	108人	109人	

2. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	108人	108人	108人	108人	108人	108人
入学定員充足率	1.00	1.04	1.00	1.00	1.00	1.01
歩留率	0.97	0.96	0.96	0.96	0.96	0.96

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	-	-	-	-	-	#DIV/0!	
	延べ人数	志願者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		受験者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		合格者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		うち追加合格者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		辞退者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
	実人数	志願者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		受験者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		合格者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		うち追加合格者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		辞退者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
	入学者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!	
	学校推薦型選抜	募集人数	55人	55人	55人	55人	55人	55人
延べ人数		志願者数	190人	192人	166人	201人	205人	191人
		受験者数	190人	188人	166人	201人	204人	190人
		合格者数	58人	56人	58人	58人	57人	57人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
実人数		志願者数	190人	192人	166人	201人	205人	191人
		受験者数	190人	188人	166人	201人	204人	190人
		合格者数	58人	56人	58人	58人	57人	57人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
入学者数		58人	56人	58人	58人	57人	57人	
一般選抜		募集人数	105人	105人	105人	105人	105人	105人
	延べ人数	志願者数	544人	346人	442人	404人	569人	461人
		受験者数	339人	192人	258人	219人	338人	269人
		合格者数	119人	119人	120人	122人	123人	121人
		うち追加合格者数	1人	5人	6人	5人	0人	3人
		辞退者数	14人	13人	19人	18人	19人	17人
	実人数	志願者数	544人	346人	442人	404人	569人	461人
		受験者数	339人	192人	258人	219人	338人	269人
		合格者数	119人	119人	120人	122人	123人	121人
		うち追加合格者数	1人	5人	6人	5人	0人	3人
		辞退者数	14人	13人	19人	18人	19人	17人
	入学者数	105人	106人	101人	104人	104人	104人	
	共通テスト利用入試	募集人数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
延べ人数		志願者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		受験者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		合格者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		うち追加合格者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		辞退者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
実人数		志願者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		受験者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		合格者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		うち追加合格者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		辞退者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
入学者数		-	-	-	-	-	#DIV/0!	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	3人	1人	3人	2人	3人	2人
		受験者数	3人	1人	3人	2人	3人	2人
		合格者数	0人	0人	1人	0人	1人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	1人	3人	2人	3人	2人
		受験者数	0人	1人	3人	2人	3人	2人
		合格者数	0人	0人	1人	0人	1人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	0人	1人	0人	1人	0人	
	合計	募集人数	160人	160人	160人	160人	160人	160人
延べ人数		志願者数	737人	539人	611人	607人	777人	654人
		受験者数	532人	381人	427人	422人	545人	461人
		合格者数	177人	175人	179人	180人	181人	178人
		うち追加合格者数	1人	5人	6人	5人	0人	3人
		辞退者数	14人	13人	19人	18人	19人	17人
実人数		志願者数	734人	539人	611人	607人	777人	654人
		受験者数	529人	381人	427人	422人	545人	461人
		合格者数	177人	175人	179人	180人	181人	178人
		うち追加合格者数	1人	5人	6人	5人	0人	3人
		辞退者数	14人	13人	19人	18人	19人	17人
入学者数		163人	162人	160人	162人	162人	162人	

2. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	160人	160人	160人	160人	160人	160人
入学定員充足率	1.02	1.01	1.00	1.01	1.01	1.01
歩留率	0.92	0.93	0.89	0.90	0.90	0.91

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）
 大学学部学科等名：群馬大学理工学部物質・環境類

別紙2-4

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	-	-	5人	5人	5人	5人	
	延べ人数	志願者数	-	-	1人	7人	7人	5人
		受験者数	-	-	1人	7人	7人	5人
		合格者数	-	-	1人	5人	3人	3人
		うち追加合格者数	-	-	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	-	-	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	-	-	1人	7人	7人	5人
		受験者数	-	-	1人	7人	7人	5人
		合格者数	-	-	1人	5人	3人	3人
		うち追加合格者数	-	-	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	-	-	0人	0人	0人	0人
	入学者数	-	-	1人	5人	3人	3人	
	学校推薦型選抜	募集人数	-	-	90人	90人	90人	90人
		延べ人数	志願者数	-	-	154人	159人	141人
受験者数			-	-	154人	159人	141人	151人
合格者数			-	-	96人	103人	101人	100人
うち追加合格者数			-	-	0人	0人	0人	0人
辞退者数			-	-	0人	0人	0人	0人
実人数		志願者数	-	-	154人	159人	141人	151人
		受験者数	-	-	154人	159人	141人	151人
		合格者数	-	-	96人	103人	101人	100人
		うち追加合格者数	-	-	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	-	-	0人	0人	0人	0人
入学者数		-	-	96人	103人	101人	100人	
一般選抜		募集人数	-	-	190人	190人	190人	190人
		延べ人数	志願者数	-	-	388人	605人	596人
	受験者数		-	-	275人	441人	368人	361人
	合格者数		-	-	214人	217人	214人	215人
	うち追加合格者数		-	-	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		-	-	26人	34人	25人	28人
	実人数	志願者数	-	-	388人	605人	596人	530人
		受験者数	-	-	275人	441人	368人	361人
		合格者数	-	-	214人	217人	214人	215人
		うち追加合格者数	-	-	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	-	-	26人	34人	25人	28人
	入学者数	-	-	188人	183人	189人	187人	
	共通テスト利用入試	募集人数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		延べ人数	志願者数	-	-	-	-	-
受験者数			-	-	-	-	-	#DIV/0!
合格者数			-	-	-	-	-	#DIV/0!
うち追加合格者数			-	-	-	-	-	#DIV/0!
辞退者数			-	-	-	-	-	#DIV/0!
実人数		志願者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		受験者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		合格者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
		うち追加合格者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!
	辞退者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!	
入学者数	-	-	-	-	-	#DIV/0!		
その他の特別選抜	募集人数	-	-	0人	0人	0人	0人	
	延べ人数	志願者数	-	-	13人	16人	20人	16人
		受験者数	-	-	8人	9人	13人	10人
		合格者数	-	-	7人	1人	3人	4人
		うち追加合格者数	-	-	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	-	-	3人	1人	0人	1人
	実人数	志願者数	-	-	13人	16人	20人	16人
		受験者数	-	-	8人	9人	13人	10人
		合格者数	-	-	7人	1人	3人	4人
		うち追加合格者数	-	-	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	-	-	3人	1人	0人	1人
	入学者数	-	-	4人	0人	3人	2人	
	合計	募集人数	0人	0人	285人	285人	285人	171人
		延べ人数	志願者数	0人	0人	556人	787人	764人
受験者数			0人	0人	438人	616人	529人	317人
合格者数			0人	0人	318人	326人	321人	193人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			0人	0人	29人	35人	25人	18人
実人数		志願者数	0人	0人	556人	787人	764人	421人
		受験者数	0人	0人	438人	616人	529人	317人
		合格者数	0人	0人	318人	326人	321人	193人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	29人	35人	25人	18人	
入学者数	0人	0人	289人	291人	296人	175人		

2. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	-	-	285人	285人	285人	285人
入学定員充足率	-	-	1.01	1.02	1.04	1.02
歩留率	-	-	0.91	0.89	0.92	0.91

（備考）
令和3年4月開設

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：大学院医学系研究科修士課程の入学説明会

	R3年度入試	R4年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	5人	9人	①取組概要 生命医科学専攻（修士課程）および大学院入試に興味のある方を対象にした入学説明会を実施。令和2年実施回よりZoomにて開催。 説明会用スライドをもって、生命医科学専攻（修士課程）の教育研究内容や入学試験について説明。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 入学説明会参加者のうち受験対象者の8割以上は入学に繋がっているため、説明会の効果は高い。
うち受験対象者数(b)	5人	7人	
うち受験者数(c)	5人	7人	
うち入学者数(d)	4人	6人	
(受験率 c/b)	100.0%	100.0%	
(入学率 d/b)	80.0%	85.7%	

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：大学院保健学研究科博士前期課程の入学説明会

	R3年度入試	R4年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	79人	77人	①取組概要 受験希望者を対象として、既設組織の特色や養成する人材像の紹介、領域別の教員と研究内容の紹介、在学生の生活(社会人と学生の両立)、入試概要と費用等の入学説明会を実施。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 入学説明会参加者中の受験対象者のうち入学者は約54%であったが、この当該説明会に参加した入学者は全入学者の約8割を占めていることから、説明会は有効である。
うち受験対象者数(b)	54人	59人	
うち受験者数(c)	34人	32人	
うち入学者数(d)	32人	32人	
(受験率 c/b)	63.0%	54.2%	
(入学率 d/b)	59.3%	54.2%	

③募集を行った学科等名称及び取組の名称：大学院保健学研究科博士後期課程の入学説明会

	R3年度入試	R4年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	7人	4人	①取組概要 受験希望者を対象として、既設組織の特色や養成する人材像の紹介、領域別の教員と研究内容の紹介、在学生の生活(社会人と学生の両立)、入試概要と費用等の入学説明会を実施。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 入学説明会参加者のうち受験対象者の全員が入学に繋がっているため、説明会の効果は非常に高い。
うち受験対象者数(b)	7人	4人	
うち受験者数(c)	7人	4人	
うち入学者数(d)	7人	4人	
(受験率 c/b)	100.0%	100.0%	
(入学率 d/b)	100.0%	100.0%	

④募集を行った学科等名称及び取組の名称：大学院理工学府博士前期課程・後期課程の入学説明会

	R3年度入試	R4年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	104人	150人	①取組概要 「理工学府博士前期課程又は後期課程に関心のある学生」を対象に、群馬大学大学院理工学府の理念や研究内容、入試制度等の概要について説明した(2022年度からは、説明会の様子を本学YouTube公式チャンネルでアーカイブ公開)。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 説明会は申込を必要としていなかったため、説明会参加者の受験・入学実績は把握できていない。
うち受験対象者数(b)	-	-	
うち受験者数(c)	-	-	
うち入学者数(d)	-	-	
(受験率 c/b)	-	-	
(入学率 d/b)	-	-	

戦企第306-13号
令和5年2月24日

国立大学法人群馬大学長
石崎泰樹様

群馬県知事
山本一太



食健康科学研究科の設置に関する要望書

貴学におかれましては、本県に立地する国立大学として、地域の知の拠点、地域の教育、医療を担う中核となり、活力ある地域社会の創造、産業の発展、医療福祉の向上に寄与されるとともに、豊かな人間性と高度な専門知識を兼ね備えた優れた人材を育成されていることに対して、心より敬意と感謝を表します。

さて、本県では、未来の県民の幸福も考え、エネルギーや食、健康、社会的平等などさまざまな事象ごとに社会や環境、経済への影響を考えバランスの取れた成長を実現する、持続可能な社会を目指しています。

「新・群馬県総合計画」(2021年～2040年)においては、健康長寿社会の実現を掲げており、この実現に向けた「群馬モデル」として、産学官連携により「健康な食事への接点を拡大」し、健康な食事に資する商品の製造・流通拡大に取り組む戦略などを策定しました。

また、本県は、「ものづくり立県」として産業が発展してきましたが、全産業でデジタル化が進む中、強みとしてきた「ものづくり」のあり方が変わり、新たな価値の創出が求められるようになってきています。

貴学においては、食健康科学教育研究センターや、理工学部における食品工学プログラムにおいて、食と健康の分野の発展に努められているところであり、本県の健康増進、産業振興などの多様化、複雑化する様々な行政課題を、新たな手法で解決していくためにも、貴学とのさらなる連携を期待しているところです。

つきましては、貴学において、食のエビデンスベースの高付加価値化を目指した食品開発や、健康増進と健康寿命延伸を目指した、より高度な人材を育成・研究するための新たな大学院の設置が早期に実現し、これまで以上に、本県並びに我が国に貢献する大学となるよう、特段のご配慮を賜りますよう、要望いたします。

令和5年2月24日

国立大学法人群馬大学長

石崎泰樹様

群馬経済同友会

代表幹事 齋藤 一雄

代表幹事 坂本 正堂



本県経済産業界の振興強化に関する要望書

貴学におかれましては、日頃より本県経済産業界に対し様々なご協力をいただき、厚く感謝申し上げます。

当会と貴学は、2020年8月に包括連携協定を締結し、大学院改革に関する意見交換や企業へのアンケート調査、進路担当者とのインターンシップ等に係る情報交換会など、共同して地域産業の振興と地域課題の解決に資する人材を育成するための対話と活動を行ってきました。

急激に変化し、複雑な課題を抱える現代社会において、研究活動の成果を社会に提供しその発展に寄与する使命を持つ大学の活性化、とりわけ、様々な機関との連携事業が行われ、高度な専門的知識と倫理観を基礎に自ら考え行動し、新たな知及びそれに基づく価値を創造し、グローバルに活躍する人材を育成する大学院の果たすべき役割は重要となっています。

このたび、貴学が設置を検討している、情報学及び食健康科学の新たな大学院における高度な人材育成と研究推進は、日本社会のあらゆる分野でのデジタル化の遅れや、健康寿命の延伸による活力ある持続可能な社会の実現など、喫緊の課題に対応するものであり、本県の産業力の強化やグローバル展開に寄与する取組となります。

いずれの分野も、貴学において、情報学部、理工学部食品工学プログラムの学部レベルでの人材育成や、数理データ科学教育研究センター、食健康科学教育研究センターでの研究推進に取り組まれています。本県にはまだ大学院レベルの組織が存在していない分野であることから、新たな人材を呼び込む好機であり、高等教育を受けた企業人などのリスキリングの機会にもなりますので、本会としても、貴学との連携に大いに期待を持って、早期に実現されることを強く要望いたします。

令和5年3月3日

国立大学法人群馬大学長
石崎泰樹様

群馬県食品工業協会
会長 糸井 義



食健康科学研究科の設置に関する要望書

貴大学におかれましては、日頃より本県食品産業界に対し様々なご協力をいただき、厚く感謝申し上げます。

本県農畜産物は、農業産出額で全国でも上位にランク付けされており、製麺業、こんにゃく加工業、農産品加工業、清酒業など数多くの食にかかる地場産業が存在しており、近年では、伝統的な食材からの脱却を図り、農畜産物が持つ成分を活用した食品の開発など、新たな市場の可能性を見いだしている企業もあります。

貴大学では、食健康科学教育研究センターにおいて、農作物の6次産業化に資する研究や、より高付加価値な高機能食品を生み出すための研究、食に関連した健康増進に関わる研究を推進されており、さらに、理工学部食品工学プログラムにおいて、食品を科学的に理解して食品開発に反映させ、食品生産および海外も含めた流通に寄与する人材、健康と美に配慮した食品科学に加えて、環境に配慮した食品の加工・調製・包装・流通・保存に関する知識とこれらが連携する一連のプロセスを理解した人材の育成に取り組み、食品と健康を融合させた学術分野の発展と、本県食品産業の振興に寄与されているところです。

このたび貴大学が設置を検討されている食健康科学研究科は、これらの活動を一層推進し、高度化するものであることから、本会としても、貴大学との連携に大いに期待し、早期に設置が実現されることを強く要望致しますとともに、特段のご配慮を賜りますようお願い致します。

令和5年1月15日

国立大学法人群馬大学
学長 石 崎 泰 樹 様

公益社団法人群馬県看護協会
会長 神 山 智 子



食健康科学研究科の設置に関する要望書

貴学におかれましては、日頃から本会活動へのご理解と多大なるご尽力を賜っておりますことに感謝申し上げます。また、県内唯一の国立大学として、専門的な医療人の育成並びに地域の保健、医療及び福祉の向上に寄与されておられますことに、心から敬意と感謝を表します。

本会は、県民及び国民の命と健康を守るため、貴学への大学院食健康科学研究科の設置について、できる限り早期に実現していただきますよう、次のとおり要望いたします。

貴学では、「食」をキーワードとして健康社会に貢献する食健康科学教育研究センターを設置し、農作物の6次産業化に資する研究や、エビデンスに基づく高付加価値な高機能食品を生み出すための研究、食に関連した健康増進に関わる研究を推進されています。

また、公開講座において社会人向けリカレント・リスキリング教育に努められており、農作物から食品生産までの食品工学プロセスと、食の栄養機能と代謝調節に関わる健康科学プロセスの両面について学修できる取組は魅力的なものと言えます。

このたび貴学が設置を検討されている食健康科学研究科は、これらの活動を一層推進し、高度化するものです。修士課程においては、保健学、食品科学、食品生産工学、環境科学に関する専門性を基盤として、従来 of 学問分野の枠を越えて「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成に貢献し得る「食健康科学」の高度専門人材を育成し、さらに博士課程においては、医科学も含めた高度な専門的知識・技術を食健康科学へと展開することを目指されており、このような取組について本会としても大いに支持します。

私たち看護の専門職の役割は、人類と地球の健全性に資する3つのヘルス分野（エンバイロメンタル・ヘルス、ソーシャル・ヘルス、ヒューマン・ヘルス）のうち、ひとの健康な生活を支える領域であるヒューマン・ヘルスへの関わりが強いことはもちろんのこと、貴学が取り組む、働く女性、特に看護職を対象とした大規模コホート研究等ソーシャル・ヘルスの領域にも大きく関わるものと考えます。

以上のような食健康科学の学問について、修士課程および博士課程において学ぶ機会を早急に提供されることを強く要望するとともに、県民の健康と福祉、幸福度の向上を目指した活動を進められることを期待しております。

群医第 3119 号
令和6年1月16日

国立大学法人群馬大学
学長 石 崎 泰 樹 様

群馬県医師会
会長 須 藤 英 仁
(公印省略)

食健康科学研究科の設置に関する要望書

群馬大学大学院食健康科学研究科の設置をできる限り早期に実現していただきますよう、次のとおり要望いたします。

群馬県の食健康科学に関する代表的な疾病の現状は、メタボリック症候群の予備軍が男性 28.9%(全国 24.1%)、女性 11.4%(全国 8.2%)といずれも高値となっており、また糖尿病が最大の原因疾患である人工透析導入では、令和3年の集計では全国平均 12.2人(人口10万人対)と比較し、16.2人と大きく上回っています。全国一の自動車普及率など日常的に体を動かすことの減少が一つの要因となっていることも否めませんが、最も基本である「食」に対する県民の認識、教育不足も大きな要因と思われ、専門人材の育成が大いに求められます。

貴大学では、「食」をキーワードとして健康社会に貢献する食健康科学教育研究センターを設置し、農作物の6次産業化に資する研究や、エビデンスに基づく高付加価値な高機能食品を生み出すための研究、食に関連した健康増進に関わる研究を推進されています。

また、公開講座において社会人向けリカレント・リスキリング教育に努められており、農作物から食品生産までの食品工学プロセスや、食の栄養機能と代謝調節に関わる健康科学プロセスの両面について学修できる取組は魅力的なものと考えています。

このたび貴大学が設置を検討されている食健康科学研究科は、これらの活動を一層推進し、高度化するものです。修士課程においては、保健学、食品科学、食品生産工学、環境科学、に関する専門性を基盤として、従来 of 学問分野の枠を越えて「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成に貢献し得る「食健康科学」の高度専門人材を育成し、さらに博士課程においては、医科学も含めた高度な専門的知識・技術を食健康科学へと展開することを目指されており、このような取組について群馬県医師会としても大いに支持します。

以上のような食健康科学の学問について、修士課程および博士課程において学ぶ機会を早急に提供されることを強く要望するとともに、貴学と共同して臨床現場で求められる各世代の健康増進に関わる研究を深め、小児期においては食物アレルギー疾患の予防、青少年期では健やかな成長に資する食事の提供、壮年期ではメタボリック症候群

予防のための食事の提案、高齢者においてはフレイル予防に欠かせない食事の改良、さらに誤嚥予防できる食事形態の研究など、貴科との研究面での連携が健康社会増進に大きな力となることを確信しております。

また治療の進歩により、食事内容も大きく変わるべきではないでしょうか。糖尿病の治療は新たな薬剤が多数上市され大きく変化しました。糖尿病食事指導が旧態依然の食品交換表でよいのでしょうか。食品の多様化は驚くばかりです。

高齢化により心不全のパンデミック発生は現実のものとなりました。ファンタスティックフォーとよばれる新たな治療薬の使用も進んでおりますが、減塩食の重要性は変わりません。日本人の味覚に沿った減塩食の開発も待たれます。

さらに各疾病における栄養素としての食の評価だけではなく、食事が回復過程においてどのくらい精神的影響を与え重要であるか、などの研究も価値あるものと考えます。

今後、社会の変化、治療の変化に合わせ人類の生命維持のため最も重要である食の研究することは極めて重要です。群馬大学大学院食健康科学研究科の設置が世界に通用する知識と技術を得られる大学院となる事を大いに期待しております。

特段のご配慮を賜りますようお願い致します。

令和6年1月12日

国立大学法人群馬大学長
石崎泰樹 様

カネコ種苗株式会社
代表取締役社長 金子昌彦

食健康科学研究科の設置に関する要望書

群馬大学大学院食健康科学研究科の設置をできる限り早期に実現していただきませう、次のとおり要望いたします。

当社においては、野菜・花卉・牧草などの品種開発を通じて生活の多様性に貢献することを目指して日々活動しております。また作物生産に利用される各種農業用資材の販売を通じて全国の生産農家をサポートするためにも活動しております。

現在の日本農業は、国内の少子高齢化の速度以上に農業生産者の高齢化が進んでいるために農業生産の担い手不足が懸念されております。このことは食糧生産にとって大きな社会問題になっております。

当社は、①作りやすく、②病害虫に抵抗性があり、③気候変動にも強く、④美味しい、野菜の品種開発を通じて農業生産者の支援を目指していますが、今後の品種開発の方向性として作物の機能性にも着目した品種開発が求められると考えています。高齢者は小食な方が多く栄養バランスが崩れやすいと言われております。そのような小食な方でも十分な栄養価を食事から摂取することができることは健康寿命に貢献するばかりでなく、若年齢層から機能性野菜を摂取することで医食同源的な効果が得られるのではないかと想像しております。そのためには野菜の摂取が体内でどのような効果(反応)をしているのかという学術的研究の蓄積と研究成果の品種開発への応用展開が必要であると考えます。

このたび貴大学が設置を検討されている食健康科学研究科では医・理・工の領域を超えた連携による新領域の研究が期待されております。ここ群馬県において新領域の研究が行われ社会課題の解決に寄与されると期待しております。群馬県の社会課題の解決を通じて、群馬県内企業との連携が実践されれば研究者の群馬県定住にもつながり、食健康科学研究科で培われた知の流出を防止できるとも考えられます。

食健康科学研究科が食糧生産と健康寿命を通じた研究者育成ならびに社会課題の解決に取り組まれることを大いに期待しております。

令和6年 1月 30日

国立大学法人群馬大学長
石 崎 泰 樹 様

東洋紡株式会社
フィルムイノベーション部 部長 大谷 寿幸



食健康科学研究科の設置に関する要望書

群馬大学大学院食健康科学研究科の設置をできる限り早期に実現していただきますよう、次のおり要望いたします。

当社では、食品用容器包装のほか一般包装などに使用される各種プラスチックフィルムを事業として運営しております。あらゆる商品は、消費者のもとに届けられるためには必ず容器包装を必要としますが、容器包装は各産業の発展とともに歩んでまいりました。特に食品の場合では容器包装の内容物である食品を「より安全に、より経済的に、より使いやすく」お届けする点において容器包装の果たす役割は非常に大きいものとなっており、医薬品においては包装は品質の担保の面から既に製品の一部にもなっている場合もございます。今後は食品に対する高度な知識や専門性を有する人材により食品に係る各種産業を更に発展させていくことが必要であり、その中でも食を通して「より健康的に」という側面が今後は重要になってまいります。

貴大学では、「食」をキーワードとして健康社会に貢献する食健康科学教育研究センターを設置し、農作物の6次産業化に資する研究や、エビデンスに基づく高付加価値な高機能食品を生み出すための研究、食に関連した健康増進に関わる研究を推進されています。

また、公開講座において社会人向けリカレント・リスキリング教育に努められており、食品関連企業としても、農作物から食品生産までの食品工学プロセスや、食の栄養機能と代謝調節に関わる健康科学プロセスの両面について学修できる取組は魅力的なものと考えています。

このたび貴大学が設置を検討されている食健康科学研究科は、これらの活動を一層推進し、高度化するものです。修士課程においては、保健学、食品科学、食品生産工学に関する専門性を基盤として、従来の学問分野の枠を越えて「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成に貢献し得る「食健康科学」の高度専門人材を育成し、さらに博士課程においては、医科学も含めた高度な専門的知識・技術を食健康科学へと展開することを目指されており、このような取組について当社としても大いに支持します。

食品業界の次代を担う人材や現在活躍している実務経験者が、修士課程および博士課程において食健康科学の学問について学ぶ機会を早急に提供されることを強く要望するとともに、貴学と共同して研究開発に取り組めることを大いに期待しています。

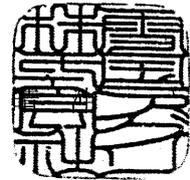
特段のご配慮を賜りますようお願い致します。

以上

令和6年 1月 31日

国立大学法人群馬大学長
石崎泰樹様

雪国アグリ株式会社
代表取締役社長 鳥山



食健康科学研究科の設置に関する要望書

群馬大学大学院食健康科学研究科の設置をできる限り早期に実現していただきますよう、次のとおり要望いたします。

当社は、農作物の加工ならびに販売を行う食品製造業者です。農作物の中でも、群馬県が全国の9割以上の生産量を占める蒟蒻芋の加工ならびに販売に力を入れており、当社の所在地である利根沼田地域の蒟蒻芋栽培農家と栽培契約を結び、安定的な蒟蒻製品の製造・販売を行っております。近年、蒟蒻製品の消費量が減少していることもあり、蒟蒻農家からは蒟蒻産業の衰退を懸念する声をきくことが多くなりました。これまで地域の農家とともに歩みを進めてきた当社としては、農家を守るため、蒟蒻の消費量増加を目的とした商品開発が課題となっております。

蒟蒻消費量増加のため、当社ではこんにゃくゼリーのような、美味しく安価な製品の開発を主に行ってまいりましたが、近年では健康意識の高まりもあり、食材の機能性を謳った製品開発を主体とする事業を立ち上げました。当社には研究所があり、日々機能性をもつ製品の開発に取り組んでおりますが、食材の機能性を明らかにするためには、食材に含まれる成分やその分析方法に関する研究、機能性成分の抽出・製造方法に関する研究のみならず、人体に対する効果や作用機序を明らかにするための研究や知識も必要であるため、当社単独で開発を進めていくことは非常に困難であります。そこで、近隣の大学や研究機関と共同で、食材の機能性を研究できる機会を切望しておりました。

貴大学では、「食」をキーワードとして健康社会に貢献する食健康科学教育研究センターを設置し、農作物の6次産業化に資する研究や、エビデンスに基づく高付加価値な高機能食品を生み出すための研究、食に関連した健康増進に関わる研究を推進されています。

また、公開講座において社会人向けリカレント・リスキリング教育に努められており、食品関連企業としても、農作物から食品生産までの食品工学プロセスや、食の栄養機能と代謝調節に関わる健康科学プロセスの両面について学修できる取組は魅力的なものと考えています。

このたび貴大学が設置を検討されている食健康科学研究科は、これらの活動を一層推進し、高度化するものです。修士課程においては、保健学、食品科学、食品生産工学に関する専門性を基盤として、従来の学問分野の枠を越えて「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献し得る「食健康科学」の高度専門人材を育成し、さらに博士課程においては、医科学も含めた高度な専門的知識・技術を食健康科学へと展開することを目指され

ており、このような取組について当社としても大いに支持します。

食品業界の次代を担う人材や現在活躍している実務経験者が、修士課程および博士課程において食健康科学の学問について学ぶ機会を早急に提供されることを強く要望するとともに、貴学と共同して研究開発に取り組めることを大いに期待しています。特段のご配慮を賜りますようお願い致します。

令和6年 2月 2日

国立大学法人群馬大学長
石 崎 泰 樹 様

日本カーリット株式会社
代表取締役兼社長執行役員 小川 文生



食健康科学研究科の設置に関する要望書

群馬大学大学院食健康科学研究科の設置をできる限り早期に実現していただきますよう、次のとおり要望いたします。

当社においては、化学品、電子材料品メーカーとして幅広く事業展開しているなかで、食品添加物や農業用資材、殺菌剤、除草剤など、食品生産に関わる製品の製造、販売を行っております。また、バイオマスを有効活用して付加価値を向上させた新しい材料の研究開発や、農業用殺菌剤、除草剤の適用拡大に向けた検証など、ライフサイエンス材料の応用と発展に取り組んでおります。

貴大学では、「食」をキーワードとして健康社会に貢献する食健康科学教育研究センターを設置し、農作物の6次産業化に資する研究や、エビデンスに基づく高付加価値な高機能食品を生み出すための研究、食に関連した健康増進に関わる研究を推進されています。

また、公開講座において社会人向けリカレント・リスクリング教育に努められており、食品関連企業としても、農作物から食品生産までの食品工学プロセスや、食の栄養機能と代謝調節に関わる健康科学プロセスの両面について学修できる取組は魅力的なものと考えています。

貴大学では、食品に関連する材料の高付加価値化や機能化など、新たな価値を見いだす発展的な研究を推進しております。このたび貴大学が設置を検討されている食健康科学研究科は、これらの活動を一層推進し、高度化するものです。修士課程においては、保健学、食品科学、食品生産工学に関する専門性を基盤として、従来の学問分野の枠を越えて「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成に貢献し得る「食健康科学」の高度専門人材を育成し、さらに博士課程においては、医科学も含めた高度な専門的知識・技術を食健康科学へと展開することを目指されており、このような取組について当社としても大いに支持します。

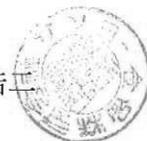
食品業界の次代を担う人材や現在活躍している実務経験者が、修士課程および博士課程において食健康科学の学問について学ぶ機会を早急に提供されることを強く要望するとともに、貴学と共同して研究開発に取り組めることを大いに期待しています。

特段のご配慮を賜りますようお願い致します。

2024年 2月 7日

国立大学法人群馬大学長
石 崎 泰 樹 様

サンヨー食品株式会社
執行役員開発本部本部長 阿部 浩二



食健康科学研究科の設置に関する要望書

群馬大学大学院食健康科学研究科の設置をできる限り早期に実現していただきますよう、次のとおり要望いたします。

当社においては、加工食品であるインスタントラーメンの製造販売を行っております。特に群馬県の前橋市に研究開発拠点である開発本部を置いております。

貴大学では、「食」をキーワードとして健康社会に貢献する食健康科学教育研究センターを設置し、農作物の6次産業化に資する研究や、エビデンスに基づく高付加価値な高機能食品を生み出すための研究、食に関連した健康増進に関わる研究を推進されています。

また、公開講座において社会人向けリカレント・リスキリング教育に努められており、食品関連企業としても、農作物から食品生産までの食品工学プロセスや、食の栄養機能と代謝調節に関わる健康科学プロセスの両面について学修できる取組は魅力的なものと考えています。

このたび貴大学が設置を検討されている食健康科学研究科は、これらの活動を一層推進し、高度化するものです。修士課程においては、保健学、食品科学、食品生産工学に関する専門性を基盤として、従来の学問分野の枠を越えて「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成に貢献し得る「食健康科学」の高度専門人材を育成し、さらに博士課程においては、医科学も含めた高度な専門的知識・技術を食健康科学へと展開することを目指されており、このような取組について当社としても大いに支持します。

食品業界の次代を担う人材や現在活躍している実務経験者が、修士課程および博士課程において食健康科学の学問について学ぶ機会を早急に提供されることを強く要望するとともに、貴学と共同して研究開発に取り組めることを大いに期待しています。

更には、食に関わる大学教育課程と研究活動を行って群馬大学を卒業される人材を、群馬県内の企業として待ち望んでおります。

特段のご配慮を賜りますようお願い致します。

以上

群馬大学の新しい大学院に関するアンケート

群馬大学では、社会課題を解決する実践力をもつ人材を育成するため、以下の新しい大学院を設置することを検討しています。

- ・情報学研究科
- ・食健康科学研究科
- ・パブリックヘルス学環
- ・医理工レギュラトリーサイエンス学環

本アンケートは、企業・団体の皆さんの採用に関する考え方、大学院における従業員の学び直しなどの意見をお伺いし、群馬大学大学院の教育をより充実したものにするための参考資料とさせていただきます。

このアンケートで得られた情報や回答内容は上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、企業・団体を特定することは一切ありませんので、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※別紙資料の内容は設置構想中のものであり、名称は仮称です。今後変更になる可能性がありますのでご了承ください。



(共有なし) [アカウントを切り替える](#)



*必須

(1) はじめに、貴社・貴団体についてお伺いいたします。

① アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度を教えてください。 *

- 採用の決定権があり、選考にかかわっている
- 採用の決定権はないが、選考にかかわっている
- 採用時に直接かかわらず、情報や意見を収集、提供する



② 貴社・貴団体の本社（本部）所在地について、都道府県名を教えてください。 *

回答を入力

③ 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。 *

- 農・林・漁・鉱業
- 建設業
- 製造業
- 電気・ガス・熱供給・水道業
- 情報通信業
- 運輸業
- 卸売・小売業
- 金融・保険業
- 不動産業
- 飲食店・宿泊業
- 医療・福祉
- 複合サービス事業
- サービス業
- 公務
- その他



④ 貴社・貴団体の従業員数（正規社員）について、ご回答ください。*

- 50名未満
- 50名～100名未満
- 100名～500名未満
- 500名～1,000名未満
- 1,000名～5,000名未満
- 5,000名以上

⑤ 貴社・貴団体の過去（例えば3か年）の平均的な正規社員の採用数について、教えてください。（分かる範囲で結構です。）

回答を入力

⑥ ⑤のうち、大学院修了者数を教えてください。（分かる範囲で結構です。）

回答を入力

⑦ 貴社・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。*

- 増やす
- 昨年度並み
- 減らす
- 未定
- 採用予定なし
- 見送り（中止）



⑧ 貴社・貴団体では、大学院修了生を採用した実績がある場合又は採用を予定 *
している場合、学部卒業生と比較し大学院修了生の専門的知識・能力の高さの違
いを期待していますか。

- とても期待している
- ある程度期待している
- あまり期待していない
- まったく期待していない
- 大学院修了生の採用は予定していない

1/2 ページ

次へ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームは 群馬大学 内部で作成されました。 [不正行為の報告](#)

Google フォーム



群馬大学の新しい大学院に関するアンケート



(共有なし) [アカウントを切り替える](#)



*必須

ここからは、リーフレットをみながら回答してください。

※リーフレットは以下のURLからアクセスできます。

https://drive.google.com/file/d/12pn7GHw3l21mWFyz4JBLud9ZYy78IH2L/view?usp=share_link

(2) 群馬大学において新たに設置しようとしている大学院についてお伺いいたします。

⑨ 各研究科の強み・特色のある分野を融合させた新たな研究科・学環を設置することについてどのような印象をお持ちになりましたか。*

- とても評価できる
- ある程度評価できる
- あまり評価できない
- まったく評価できない



⑩ 貴社・貴団体では、新たな研究科・学環を修了した学生について、採用 *
したいと思われませんか。

	採用したいと思 う	どちらかと言え ば採用したいと 思う	どちらかと言え ば採用したいと は思わない	採用したいとは 思わない
情報学研究科 社会情報学プロ グラム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
情報学研究科 情報科学プログ ラム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
食健康科学研究 科 食健康科学 プログラム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
パブリックヘル ス学環 社会健 康医学プログラ ム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
医理エレギュラ トリーサイエン ス学環 重粒子 線医理工学プロ グラム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>



⑪ 貴社・貴団体の社員・職員の学び直しの間として、新たな研究科・学環は候補になると思われませんか。

	候補になると思 う	どちらかと言え ば候補になると 思う	どちらかと言え ば候補になると 思わない	候補になると思 わない
情報学研究科 社会情報学プロ グラム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
情報学研究科 情報科学プログ ラム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
食健康科学研究 科 食健康科学 プログラム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
パブリックヘル ス学環 社会健 康医学プログラ ム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
医理エレギュラ トリーサイエン ス学環 重粒子 線医理工学プロ グラム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

⑫ 大学院の教育に関してご意見・ご要望がありましたらお答えください。（自
由記載）

回答を入力

2/2 ページ

戻る

送信

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームは群馬大学 内部で作成されました。不正行為の報告

Google フォーム



「情報学研究科」「食健康科学研究科」
「パブリックヘルス学環」「医理工レギュラトリーサイエンス学環」
就職先企業ニーズ調査結果

(出口のニーズ調査)

群馬大学大学院修了生の就職先(平成27年度～令和2年度)961社、群馬経済同友会会員企業267社、前橋商工会議所会員企業114社、合計1,342社を対象として、「情報学研究科」「食健康科学研究科」「パブリックヘルス学環」「医理工レギュラトリーサイエンス学環」に関するアンケート調査を実施した。調査時期は2023年1月であり、153の有効回答を得た(有効回答率は11.4%である)。

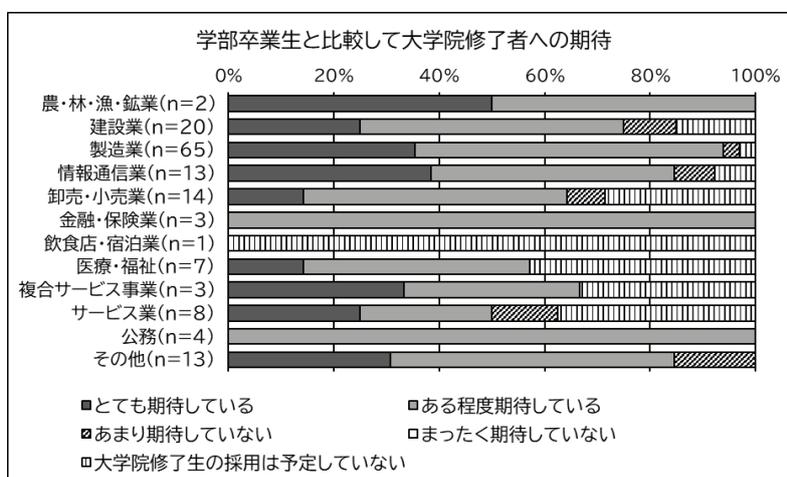


図 1.1 大学院修了生を採用した実績がある場合または採用を予定している場合における学部卒業生と比較して大学院修了生の専門的知識・能力の高さを期待する程度 (%)

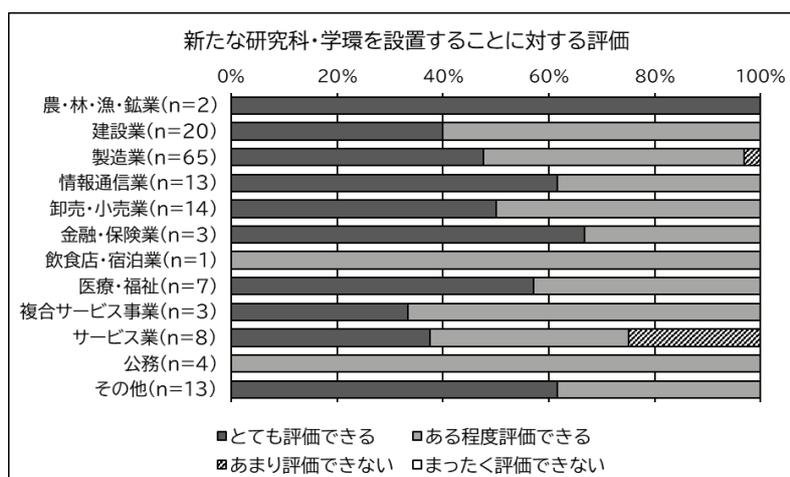


図 2 各研究科の強み・特色のある分野を融合させた新たな研究科・学環を設置することについての評価の程度 (%)

図 1 は大学院修了生を採用した実績がある場合または採用を予定している場合における学部卒業生と比較して大学院修了生の専門的知識・能力の高さを期待する程度について、4 件法(「まったく期待していない」「あまり期待していない」「ある程度期待している」「とても期待している」)による回答(別途「大学院修了生の採用を予定しない」という選択肢がある)を回答企業の業種ごとに示したものである。回答者数が 1 社のみであった飲食店・宿泊業を除いて、どの業種においても「ある程度期待している」と「とても期待している」の合計は 5 割以上である。図 2 は各研究科の強み・特色のある分野を融合させた新たな研究科・学環を設置することについての評価の程度を回答企業の業種ごとに示したものである。「ある程度評価できる」と「とても評価できる」の合計はどの業種でも 7 割以上である。概ね大学院生の就職先企業からは高く評価されていると解釈できる。

表 2.1 新たな研究科・学環を修了した学生について「どちらかと言えば採用したい」と「採用したい」の合計(%)

	情報学研究 科社会情報 学プログラム	情報学研究 科情報科学 プログラム	食健康科学 研究科食健 康科学プロ グラム	パブリックハ ルス学環社 会健康医学 プログラム	医理エレギュ ラトリーサイ エンス学環重 粒子線医理 工学プログ ラム
農・林・漁・鉱業 (n=2)	100.0	100.0	50.0	100.0	100.0
建設業 (n=20)	70.0	70.0	40.0	25.0	25.0
製造業 (n=65)	73.8	84.6	55.4	50.8	60.0
情報通信業 (n=13)	100.0	100.0	69.2	61.5	69.2
卸売・小売業 (n=14)	85.7	85.7	64.3	64.3	57.1
金融・保険業 (n=3)	100.0	100.0	66.7	66.7	66.7
飲食店・宿泊業 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
医療・福祉 (n=7)	42.9	42.9	42.9	42.9	42.9
複合サービス事業 (n=3)	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7
サービス業 (n=8)	75.0	75.0	50.0	50.0	25.0
公務 (n=4)	100.0	100.0	75.0	75.0	50.0
その他 (n=13)	92.3	92.3	53.8	46.2	53.8

表 2.1 は新たな研究科・学環を修了した大学院生の採用に関する 4 件法(「採用したいとは思わない」「どちらかといえば採用したいとは思わない」「どちらかといえば採用したい」「採用したい」)による回答について、「どちらかといえば採用したい」と「採用したい」の合計を回答企業の業種ごとに示したものである。50.0%以上のマス目を白抜き文字に、30.0%以上 50.0%未満のマス目の背景色をグレーにしている。どの研究科・学環においても、多くの業種で 50%以上の企業が肯定的な回答をしている。とりわけ、情報学研究科社会情報学プログラムと情報学研究科情報科学プログラムでは農・林・漁・鉱業、情報通信業、公務で 100.0%となっていて、また、回答者数が最も多く群馬県内の有力な業種である製造業(n=65)では、すべての研究科・学環が過半数となっていて、新たな研究科・学環に対する期待の高さが窺われる。これらの研究科・学環の修了生は各企業の即戦力として認められることが想定される。

表 2.2 新たな研究科・学環が従業員の学び直しの場の候補になるかどうかについて「どちらかと言えば候補になると思う」と「候補になる」の合計(%)

	情報学研究 科社会情報 学プログラム	情報学研究 科情報科学 プログラム	食健康科学 研究科食健 康科学プロ グラム	パブリックヘルス学環社 会健康医学 プログラム	医理エリギュ ラトリーサイ エンス学環重 粒子線医理 工学プログラ ム
農・林・漁・鉱業 (n=2)	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0
建設業 (n=20)	50.0	50.0	25.0	15.0	15.0
製造業 (n=65)	67.7	75.4	35.4	36.9	49.2
情報通信業 (n=13)	84.6	84.6	23.1	23.1	38.5
卸売・小売業 (n=14)	78.6	78.6	50.0	50.0	28.6
金融・保険業 (n=3)	100.0	100.0	66.7	66.7	66.7
飲食店・宿泊業 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
医療・福祉 (n=7)	42.9	57.1	42.9	42.9	42.9
複合サービス事業 (n=3)	100.0	100.0	66.7	66.7	33.3
サービス業 (n=8)	62.5	62.5	50.0	37.5	25.0
公務 (n=4)	75.0	75.0	75.0	75.0	50.0
その他 (n=13)	92.3	92.3	61.5	53.8	53.8

表 2.2 は新たな研究科・学環が従業員の学び直しの場の候補になるかどうかに関する 4 件法（「候補になるとは思わない」「どちらかと言えば候補になるとは思わない」「どちらかと言えば候補になる」「候補になる」）による回答について、「どちらかといえば候補になる」と「候補になる」の合計を回答企業の業種ごとに示したものである。50.0%以上のマス目を白抜き文字に、30.0%以上 50.0%未満のマス目の背景色をグレーにしている。情報学研究科社会情報学プログラムと情報学研究科情報科学プログラムでは、ほとんどの業種で過半数の企業が肯定的な回答をしている。食健康科学研究科食健康医学プログラムとパブリックヘルス学環社会健康医学プログラムでは、農・林・漁・鉱業、卸売・小売業、金融・保険業、複合サービス業、公務、その他で、医理エリギュラトリーサイエンス学環重粒子線医理工学プログラムでは金融・保険業、公務、その他で過半数の企業が肯定的な回答をしている。すべての研究科・学環において従業員を対象とするリカレント教育が期待されていると考えられる。

群馬大学の新しい大学院に関するアンケート

群馬大学では、社会課題を解決する実践力をもつ人材を育成するため、食健康科学研究科を設置することを検討しています。

本アンケートは、公開講座の受講者の皆様及びこれから受講される皆様から、大学院で学びたいことなどの意見をお伺いし、群馬大学大学院の教育をより充実したものにするための参考資料とさせていただきます。

このアンケートで得られた情報や回答内容は上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありませんので、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※別紙資料の内容は設置構想中のものであり、名称は仮称です。今後変更になる可能性がありますので、ご了承ください。

[アカウントを切り替える](#)



共有なし

[次へ](#)

[フォームをクリア](#)

このフォームは群馬大学 内部で作成されました。 [不正行為の報告](#)

Google フォーム



群馬大学の新しい大学院に関するアンケート

[アカウントを切り替える](#)



共有なし

* 必須の質問です

(1) はじめに、あなたご自身についてお聞きします。

1. あなたの年齢（年代）を教えてください。*

10代

20代

30代

40代

50代

60代

70代

80代

90代



2. あなたの最終学歴について教えてください。 *

- 大学院（博士）
- 大学院（修士）
- 大学
- 短期大学
- 高等専門学校
- 高等専修学校
- 専門学校
- 高等学校
- 中学校
- その他:

3. あなたが保有する「学位」を教えてください。 *

- ・記入例：学士（医学）、修士（教育学）、博士（農学） など
- ・無い場合には「なし」と記入

回答を入力

4. あなたの職業を教えてください。 *

- ・学生の場合は「大学生」か「大学院生」などを記入

回答を入力

戻る

次へ

フォームをクリア

このフォームは群馬大学 内部で作成されました。不正行為の報告



Google フォーム



学生確保(資料)-65-

群馬大学の新しい大学院に関するアンケート

アカウントを切り替える



共有なし

* 必須の質問です

(2) 次に、講座の受講状況についてお聞きします。

1. あなたが受講した（これから受講予定を含む）講座を教えてください。*
・該当する講座をすべて選択してください。

- 令和2年度開講 ビッグデータを用いたマーケティング戦略
- 令和2年度開講 食品包装の基礎と環境問題
- 令和2年度開講 農作物と食品の科学
- 令和3年度開講 食品科学特論
- 令和3年度開講 食健康医科学特論
- 令和4年度開講 食品生産工学特論
- 令和4年度開講 生物統計とデータ分析
- 令和4年度開講 食の栄養機能と代謝調節
- 令和4年度開講 運動の生体調節作用
- 令和5年度開講 食の栄養機能と代謝調節
- 令和5年度開講 運動の生体調節作用



2. 講座を受講しようと思ったきっかけを教えてください。*

- ・該当するものをすべて選択してください。
- ・該当するものがない場合は、その他に記入してください。

- 食健康科学に関心がある
- 群馬大学が開講する公開講座に関心がある
- 今の業務に活用できる内容が含まれている
- 今後の事業展開において必要な内容が含まれている
- 職場の上司や同僚、知人などから受講を勧められた
- 生涯学習や教養の一環としての学習
- 免許や資格取得に向けた学習
- 大学や大学院等へ進学するための学習
- その他:

戻る

次へ

フォームをクリア

このフォームは群馬大学 内部で作成されました。不正行為の報告

Google フォーム



群馬大学の新しい大学院に関するアンケート

[アカウントを切り替える](#)



共有なし

* 必須の質問です

(3) 続いて、進学希望についてお聞きします。

1. 進学は検討していますか。検討している場合は、希望する教育課程をすべて * 選択してください。

- ① 大学 (学士課程)
- ② 大学院 (修士課程)
- ③ 大学院 (博士課程)
- ④ 進学は検討していない
- その他:

[戻る](#)

[次へ](#)

[フォームをクリア](#)

このフォームは群馬大学 内部で作成されました。 [不正行為の報告](#)

Google フォーム



群馬大学の新しい大学院に関するアンケート

[アカウントを切り替える](#)



 共有なし

(1の設問のうち、②または③を選択した方に質問です。①または④を選択した方は、2と3の設問は飛ばして次に進んでください。)

2. 大学院への進学を検討する場合、設置者の区分が影響することはありますか。(複数選択可)

- ① 国立大学がよい
- ② 公立大学がよい
- ③ 私立大学がよい
- ④ 設置者の区分は影響しない



3. 学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。
(複数選択可)

- ① 法学・政治学関係
- ② 商学・経済学関係
- ③ 社会学関係
- ④ 物理学関係
- ⑤ 生物関係
- ⑥ 機械工学関係
- ⑦ 電気通信工学関係
- ⑧ 土木・建築工学関係
- ⑨ 応用化学関係
- ⑩ 農学関係
- ⑪ 医学関係
- ⑫ 薬学関係
- ⑬ 看護学関係
- ⑭ 食健康科学関係
- ⑮ 家政学関係
- ⑯ 食物学関係
- ⑰ 教育学関係
- ⑱ 人文・社会科学関係
- その他:

戻る

次へ

フォームをクリア

このフォームは群馬大学 内部で作成されました。不正行為の報告

Google フォーム



群馬大学の新しい大学院に関するアンケート

アカウントを切り替える



共有なし

* 必須の質問です

(4) ここからは、リーフレットを見ながら回答してください。

※リーフレットは以下からアクセスできます。
[群馬大学大学院食健康科学研究科概要リーフレット](#)

1. 群馬大学大学院食健康科学研究科 (博士前期課程) が開設された場合、受験を希望しますか。次より一つ選択してください。 *

- ① 第一志望として受験する
- ② 第二志望として受験する
- ③ 第三志望以降として受験する
- ④ 受験しない

戻る

次へ

フォームをクリア

このフォームは群馬大学 内部で作成されました。不正行為の報告

Google フォーム



群馬大学の新しい大学院に関するアンケート

[アカウントを切り替える](#)



共有なし

* 必須の質問です

(1の設問で①～③を選択した方に質問です。)

2. 群馬大学大学院食健康科学研究科 (博士前期課程) を受験して合格した場合、入学を希望しますか。次より一つ選択してください。 *

- ① 入学する
- ② 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する
- ③ 入学しない

[戻る](#)

[次へ](#)

[フォームをクリア](#)

このフォームは群馬大学 内部で作成されました。 [不正行為の報告](#)

Google フォーム



群馬大学の新しい大学院に関するアンケート

[アカウントを切り替える](#)



共有なし

* 必須の質問です

3. 群馬大学大学院食健康科学研究科 (博士後期課程) が開設された場合、受験を希望しますか。次より一つ選択してください。 *

- ① 第一志望として受験する
- ② 第二志望として受験する
- ③ 第三志望以降として受験する
- ④ 受験しない

[戻る](#)

[次へ](#)

[フォームをクリア](#)

このフォームは 群馬大学 内部で作成されました。 [不正行為の報告](#)

Google フォーム



群馬大学の新しい大学院に関するアンケート

[アカウントを切り替える](#)



共有なし

* 必須の質問です

(3の設問で①～③を選択した方に質問です。)

4. 群馬大学大学院食健康科学研究科 (博士後期課程) を受験して合格した場合、入学を希望しますか。次より一つ選択してください。 *

- ① 入学する
- ② 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する
- ③ 入学しない

[戻る](#)

[次へ](#)

[フォームをクリア](#)

このフォームは群馬大学 内部で作成されました。 [不正行為の報告](#)

Google フォーム



群馬大学の新しい大学院に関するアンケート

fumisa-t@gunma-u.ac.jp [アカウントを切り替える](#)



共有なし

(5) 大学院の教育に関してご意見・ご要望がありましたらお答えください。
(自由記載)

回答を入力

[戻る](#)

送信

[フォームをクリア](#)

このフォームは群馬大学 内部で作成されました。 [不正行為の報告](#)

Google フォーム



「食健康科学研究科」

食健康科学教育研究センター公開講座受講者向けアンケート調査結果

食健康科学教育研究センターが社会人向けリカレント教育の一環として実施している公開講座の受講者 43 名に対し、食健康科学研究科に関するアンケート調査を実施した。調査時期は 2023 年 11 月であり、11 の有効回答を得た(有効回答率 25.6%)。

いずれのアンケート調査も回答前に、食健康科学研究科の概要を記したリーフレットを読むように勧めている。

有効回答者職業

経営層	2
研究職	1
会社員	3
管理栄養士	2
会計士	1
無職	2
計	11

図 1 有効回答者職業

受講理由

	食健康科学に関心がある	群馬大学が開校する公開講座に関心がある	今の業務に活用できる内容が含まれている	今後の事業展開において必要な内容が含まれている	職場の上司や同僚、知人などから受講を進められた	生涯学習や教養の一環としての学習	計
経営層	1		1	2			4
研究職	1	1	1			1	4
会社員	2	2	1	2	1		8
管理栄養士	2		2	1		1	6
会計士	1						1
無職	2	2				2	6
計	9	5	5	5	1	4	29

図2 食健康科学教育研究センター公開講座の受講理由